

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成29年1月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は6から5に減少。「減少した」業種は6から11に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は14から6に減少。「減少した」業種は9から17に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は4から0に減少。「悪化した」業種は10から14に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は4から3に減少。「減少した」業種は8から9に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から5に減少。「減少した」業種は12から14に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は16から15に減少。

製造業

酒類製造

【県内全域】

冬の需要期に入っているものの、料飲店への売上伸び悩みでもあり、前年同月比で減少している。

毎年10月に千葉海浜幕張にて開催している「千葉の酒フェスタ」(試飲会)について、来期は場所を東京都内に移し、9月に開催することにつき、役員会にて決定。今後、都内における情報発信を強化していく予定。

製材

【県内全域】

取り扱い材の一部に単価が上がった物もあるが需要がそれほど伸びていないため動きが活発になつたとは感じられない。

印刷

【県内全域】

1、県内の業界は低迷が続いている。

2、紙の出荷量が減ったにも関わらず価格は据え置き。

3、通販印刷のCMが増えた。

鉄工

【千葉】

比較的受注は良好であるが、短納期の仕事が多く、慢性的な人手不足であり、人員手配が難しく受注を見送るケースもある。また、収益悪化要因として、一部原材料

の値上がりに加え、従来依頼していた外注先の廃業等により、近場の外注先が減少、遠方の外注先に発注せざるを得ず、運賃等のコスト上昇により、収益を悪化させているケースがある。

機械部品製造

【野田】

先月同様、一部の業界(スマホ・コンピュータ関係)では好調。他は前月と余り変わらない。

機械部品製造

【流山】

悪い状況ではないが、良い状況でもなく、対前年比では売上は下がっているようである。

機械部品製造

【柏】

試作等増加傾向。AI、IOTスマート工場に関連した案件及び動きが増加。

金属製品製造

【船橋】

景況の変化は見られないが、業種単位では受注増もある。

採石

【県内全域】

平成29年度は東京港の見通しが未確定の中で、横浜港の南本牧始め本牧地区などで事業が予定されており期待している。

土砂採取

【県内全域】

前月同じで市場的には引き続き停滞しており、2月以降の出荷増に期待したい。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【紙製用品】 ティッシュ・トイレットペーパー等、前年の年末年始に比べ、約3～5%出荷取扱量増加。但し、今後円安に動けば、価格上昇の懸念がある。

【建築材料卸売】 【県内全域】

景況の変化について、千葉県需要は南関東首都圏で最も悪く、前年比91。全国でも極めて低位置。他の都県は、前年以上出荷あり。回復の兆しが見受けられるが、千葉は悪い。千葉県内需要は、今後も当分回復は期待できない。業界の動きについて、千葉県内マンションの売れ行き低迷しているため、計画があっても工事が延期されている。人手、車などは東京にとられ、千葉物件はさらに延期傾向にある。

【自動車解体】 【県内全域】

景況の変化は、スクラップ価格は変化なし。トランプ効果がプラスかマイナスか？

【乾物卸売】 【県内全域】

景況の変化は相変わらず低調。業界動向は、全国的な品不足により、入札価格は高値で推移。九州地域の減産が大きく影響しそうで

ある。

【卸売】

相変わらず景気もパツとしません。消費の落ち込みも見受けられます。寒さも加わって本当にパツとしません。

【茂原】

【小売】

昨年に続き物販は苦戦している。一方、飲食関係は堅調である。業界動向は、廃業し賃貸に変更する店舗が2店（ともに物販）ある。

【柏市】

しかし、当組合の立地が駅前ということもありテナントは即決定している。

【青果小売】

【千葉市】

主力商品のみかんが伸び悩み、いちごも動きがよくない・野菜類は全体的に単価が下がってきたため、売上も伸びない。前年を上回っている月が続いているが未だに利益が今一歩取れない。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】

中古自動車オークション会場の買い取りが発表された。予定取りに進むと全国シェア4割程度になるグループが誕生する。1月13日に中古自動車オークション主催1,400回目を迎えた。

【小売】

【東金】

ファッション関連品は、近年バー

ゲン時期が早まり12月から始めている企業もあり1月は前半でバーゲンの最盛期が終了し、後半は中だるみ。日用品関連は良いところと悪いところの差が出ている。

食品関係は、野菜類がまだまだ高値の為、少量購入傾向になって単価が下がっている。飲食関係は、外食機会が減ってきている傾向が続いている。

【小売】

新春初売りは、セールの商品の売上はとれるが、消費者の生活スタイルの変化で、往年の勢いはなくなってきた。

【小売・サービス】

【野田】

不況のトンネルから抜け出せない。来街者数が減っているような気がする。周辺地区の中では住民の入れ替わりが多く多少若くは成っているようだが若い人はSC等外へ買い物に出してしまうようだ。

【小売・サービス】

【柏】

この夏の展示会でも受注が減っているのと、経営者の高齢化で廃業する店舗がますます増えているとの事。そのような影響もあつてか新規取引の営業に来るメーカーが本当に多い。

【遊覧船】

【鴨川】

寒い日が続いた影響か、例年に

比べ乗船客の入込数が芳しくなかった（特に正月三が日）。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

前月12月に比べると落ち着いた月となりましたが、例年通りの結果となりました。昨年4月の条例料金の値上げにより、前年同月比景気は好転とさせていただきました。

【学習塾】

【県内全域】

組合の事業活動等について、恒例の教材教具展を25日 京葉銀行プラザにて行い、組合員外の塾参加者も多数参加。また、組合の行事で最も人気のある「直前 入試予想問題発表会」を20日 千葉市生涯学習センターにて行い、80塾が集まった。

【土木建築サービス】 【県内全域】

これからの測量業界に必須となる「三次元計測事業」（国交省の提唱するi-Construction）に対する調査・研究（具体的な業務としてどんなことが可能か）への取り組みを含め、組合の「中期事業計画」を策定する（8月の通常総会を目的）こととし、検討委員会を立ち上げたところである。

【輸出入】

【県内全域】

1月の売上は前月比、前年同月比は不変で横ばいであった。